



# 鷹山宇一記念美術館友の会会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

第73号

平成25年12月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会

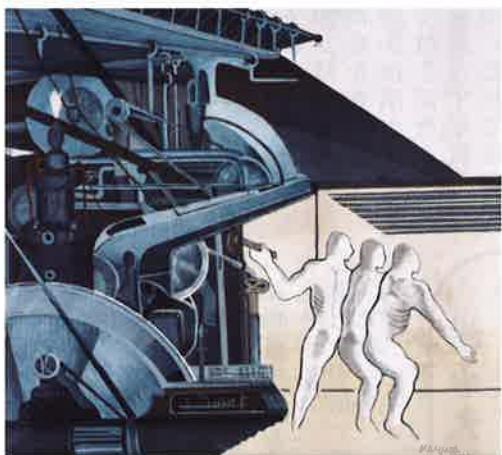
〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内

TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp/ http://www.takayamamuseum.jp/



鷹山宇一 「行く花」 1942年 (紙・パステル)

美術文化協会第3回展出品



鷹山宇一 「失題」 1946年 (紙・水版)

二科会第31回展出品



鷹山宇一 「機械と虫」 1930年 (紙・木版)

## 「シユールレアリストとしての鷹山宇一」

鷹山宇一が二科会にデビューを果たしたのは1930年二科会第17回展においてであった。シユールリアリズム風の木版画が2点初入選する。

鷹山は昨年の第16回展に登場し世評を驚かせた「超現実主義」と呼ばれる「新傾向絵画」に、高田力藏、高井貞二ら若手作家といちはやく追随して、第1室を占領した。二科会における「超現実主義」は、古賀春江の作品にみられるような、20世紀文明を象徴する機械のイメージを主題として、複数の映像の断片を組み合わせてひとつ連続したシーンを作りモンタージュ技法を駆使したモダニズム絵画が主流であり、理知的で都会的な透明感のある感覚による画風が特徴的であった。日本の近代版画において「超現実主義」の影響はあまり現れてこなかつたが、鷹山は木版画でもつて、複雑な多版表現を駆使してシユールリアリズム版画を追求し、幻想的な作品を制作した。

当時の時代背景から考えると、「前衛」傾向の作品を制作するということがいかに厳しい弾圧を受けることになるかは想像に難くない。現に、鷹山が会員であつた日本の前衛芸術家の団体である美術文化協会の福沢一郎と滝口修造が第2回展開催直前に、日本のシユールリアリストの首領として、治安維持法違反の嫌疑により検挙・拘束される。それを発端として、各地でシユールリアリズム弾圧事件が起つた。戦争の犠牲となつた画家も多く、日本のシユールリアリズム運動は完全に抹殺されることになる。

鷹山は戦後、二科会を拠点に活動し、「現代日本の稀有名な幻想画家」と称されるようになるが、自らの作品をこのように語る記述が残っている。

※「ぼくは、若いころはシユールの絵を描きました。シユールは夢幻的な具象ですよ。ぼくはこのところ、花と蝶をテーマにして描いているけれど、考えてみれば、ぼくの絵の系列はシユールでしょ。最近になつて、ぼくはしみじみそう思います。」※鎌原正巳「鷹山宇一の人と作品」(『季刊美術誌 求美』, 70涼風号) 4号, 1970年)

参考文献: 日本のシユールリアリズム (名古屋市美術館)

海外駐在余話  
その3

神奈川県二宮町  
野谷善達

文化の交差点

○右側通行

米国では車を運転し始めのころ何回か失敗をした。特に左折が問題で交差点の反対車線に車が停車していれば「オットソットソット！」と早めに路線の間違いに気づくがそこに車が止まっていない場合にスースと反対車線に入つてしまつたことがある。大抵の場合交差点で信号で止まつている他の車が「ブーグー」クラクションを鳴らしてくれるのでそれで気づく。しかし休日の朝など車が交差点にいない時などはそのまましばらく走つてしまいそのうち正面から車がこちらに近づいて来ることになる。当然パニック状態になる。パニクルとまず最初瞬間に相手の車が路線を間違えていると思う。己が間違っているとは決して思わない。後で冷静に考えると「人間は如何に自己中心的に物事を考える生き物か」と思い知らされることになる。米国の知り合いの人が日本と同じく左側通行の英國に行き第一日目に正面衝突事故を起こした。右側通行にはご注意を！

また日本では踏み切りを通過する場合警報機が鳴つていなくともいつ

○「雨のなか傘を

なか巣を  
差さずに歩く米国人

たん一時停止する。米国ではまつたく逆で一時停止すると後続の車から大変なブレーキングを食らう。踏み切りでは一時停車してはいけないのであります！

○「買つてもらつてありがとう、  
売つてくれてありがとう」

たことは日本では小雨が降り始める  
とほぼみんなが一斉に傘を差すこと  
であったそうです。確かに雨の多い  
米国のシアトルなどでは小雨などで  
はほとんどの人は傘を差さず平気で  
濡れて歩いている。雨にぬれて風邪  
でも引かないか心配してしまいます。そ  
う言えばヨーロッパなどでも上着の  
襟を手で持ち上げながら雨に濡れな  
がら歩く人が多かった気がする。英  
国のスポーツはほとんどの雨でも中  
止せずにやるものが多い。(なぜ)欧米  
人は雨に強いのか?不思議です。個  
人的なことですが私は雨に濡れるの  
が大嫌いなので天気予報が曇りであ  
つてもいつも携帯の傘を持ち歩くの  
で妻に笑われています。



京風数寄屋造りのこの建物は、現在では台東区の史跡に指定されてい

日本画の巨匠・横山大観が明治42年から居住、制作活動を行い、昭和20年の空襲で焼失した建物の土台を生かして昭和29年に再建した住居をそのまま公開している東京都台東区池之端にある「横山大観記念館」を訪れました。

横山大觀記念館

を訪ねて

の風潮が強いですが欧米では買い物と売り手の立場が対等ではないにしてもかなり近い感じがする。これは企業間の取引でも見受けられる。米国駐在の当初、数年間単身赴任していたせいか店で買い物をして私が店員にお札を言つてゐるのを久しぶりに合つた妻がみて「あなたが札を言うのは変である！」と文句を言わねたことがあつた。私もかなり米国の「悪しき習慣」に毒されてしまったようである！



るそ  
うで  
す。

ご利用案内

開館日 木曜日から日曜日

開館時間 午前10時から午後4時まで

休館日 月曜日から水曜日 入館料 大人 500円

交通 JR・地下鉄など

- ・地下鉄千代田線「湯島駅」から徒歩7分
  - ・地下鉄銀座線「上野広小路駅」から徒歩12分
  - ・地下鉄大江戸線「上野御徒町駅」から12分
  - ・JR「上野駅」「御徒町駅」から徒歩15分
  - ・京成線「京成上野駅」から15分

\*ご訪問の際は、横山大観記念館のホームページの最新情報をご確認下さい。

文化財「不動明王立像」が置かれ、四季折々の庭園が窓から眺められる客間「鉦鼓堂」は大観がお気に入りの部屋だつたそうです。大観が暮らしていた居住空間、客間や画室、床の間、通路に展示された写真や掛け軸などの作品を木造家屋の温もりを感じながらゆつたりと鑑賞、心安らぐひとときを過ごすことが出来ました。感謝。

かつては書生部屋だつたという売店で「緑雨」と題した色紙を記念に購入して帰路につきました。



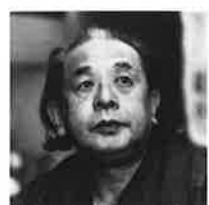
七戸町立  
鷹山宇一記念美術館

# News & Report

2013.12.15 発行

画伯「鷹山宇」を

「鷹山宇一素描集」の序文の末尾で、鷹山宇一画伯は、「絵筆一本の人生を歩ませていただいた私は、本当に幸せ者でござります。」と述べています。



彼が絵を描こう  
と思いを抱き始め  
たのは、七戸尋常  
高等小学校（現在の七戸町立七戸小  
学校）の四年のときです。学級担任  
の青山哀囚は、わざわざ青森に出かけ  
購入した児童文学雑誌創刊号「赤い鳥」  
を学級回覧するなど自由主義的  
的教育を大切にしていました。宇二  
少年は、先生から「どんどん絵を描  
け。」と励まされたことを自ら語つ

一一九七四年度の美術年鑑を見て、いましたら、大仁が書かれたわたくしに對しての言葉があつて驚きました。深大とありがたく忝じけなく頂戴いたしました。元氣様であられ、次々のお仕事のこともチヤとともに喜び居ります。松木は死んで残念でした。古藤が大湊で銅像づくりでい

いました。  
時は流れても、美の追求をしてや  
まない同志の信頼という心の絆は切  
れることはありませんでした。  
その証とし  
て、棟方志功  
が鷹山宇一宛  
ての葉書には、  
次のようにして  
ておきて、まことに。

青光画社には、木造町の桶屋の息子で、やがて独特的の絵画世界を確立し国画会会員となる松木満史と、大湊出身で、のちに日本美術院賞を受賞する程の彫刻家となる古藤正雄が

後になつて、棟方志功が、「オメツ、絵コ好きダカ。」と聞くと、「好きダ」と言つたのです。それを機に仲良くなり、絵のことや自分たちの将来のことなどについて、いろいろ語り合うようになつたそうです。

大正十二年、棟方志功が主宰していた青光画社という会の一員にして貰つて一緒に展覧会をやりました。

一枚の絵を完成した少年がいました。その少年は棟方志功であり、彼の余りにも奔放な制作ぶりに宇一少

「そがしくやつています。」  
棟方志功が同胞を思いやる人間性の一部を垣間見

ないのである。  
昭和の初めの頃、東京近郊の阿佐ヶ谷界隈が、志功さんはじめ我々の居住区でもあつたころ、我々四人の芸術家仲間は、またケンカ友達でもあつた。

雁山宇  
探心社  
大今

画友「棟方志功」を偲ぶ  
鷹山宇一の心温まる表現

棟方志功が病死した昭和五十年に  
T新聞社紙上に載せた追悼文があり  
ます。

「いつの日であったか、志功の奥さん、うちの志功は大変眼が悪く、このまゝでは盲になる恐れがあるので早急に入院させたいが、私たちのいふことは一切受けつけないから、あなたから忠告してくれといわれたことがあつた。ところが、当の本人は、盲になつたら心眼で彌ると頑張るので、呆れてしまつた。その猛烈頑張屋さんも病魔を退散出来ず、とうとうお陀佛になつた。

しかし、世界の志功にのし上がり、数々の世界的芸術賞を受けたり、わが国の芸術家の最高榮誉でもある文化勲章をものにしたことでもあるので、文句のあらうはずもなく、人々の哀惜をよそ目に目出度く三途の川にさしかかっているところかも知れ

勉強であつたから、若き時代の樂しい日々でもあつた。  
　||どうだい己だけ大天才で、お前達は凡くらであつたげな||まつたく恐れ入りやした。

　冥土の旅路をいそぐ志功さんの得意顔が目に見えてくるようである。文音信は疎遠であつても、心音信は永久に続く、眞の朋友でした。



只今開催中!!

11/10(日) → 2014  
1/26(日)



児童作品展の授賞式及び開催式が11月9日(土)に行われました。

当日は入賞者に自分の作品画像入りの賞状と各団体から提供された副賞が

## 第13回

### 鷹山賞児童作品展

#### 授賞式及び開催式

今年から青森県全域の児童生徒の皆様から作品を募集いたしました鷹山賞

査員長である二科会議員の濱田進先生からの作品全体の講評(教育長が代表と来賓の皆様からご祝辞が贈られ、最高賞である鷹山賞受賞者を囲んでのテープカットとなりました。

鷹山賞には、「待て!かぶとむし」を描いた種子叶志大君(長者小4年)と

「自然の攻防」を描いた木村陸君(木ノ下中1年)が選ばれました。

種子君は「夏休みに大好きなカブトムシを描いた」、木村君は「この版画は美術部で先生に教わりながら制作した」と作品について語ってくれました。



▲鷹山賞の2人は、鷹山宇一先生のお孫さんである彫金作家の片山雄介先生による副賞が贈られました。

► 受賞作品をバックに記念撮影。右が木村陸君左が種子叶志大君。



▲開幕を祝してのテープカット  
左から鷹山ひばり県美館長、種子叶志大君、小又勉町長、木村陸君、福士孝衛理事長、神龍子教育長

## 七月中学校

### 職場体験学習

11月14日(木)、七戸中学校の生徒3名を迎え、職場体験学習を実施いたしました。

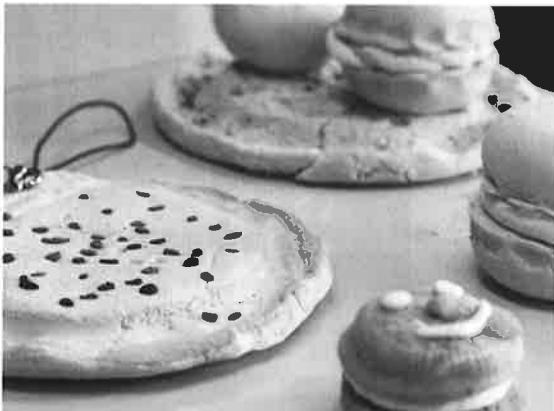
美術館に訪れてまず始めに体験したのは、南部せんべいとスイーツストラップ制作です。

もともと絵を描くことやものづくりが、好きな生徒さんたちということもあって、積極的に作業に取り組んでいました。

制作する題材が決まってはいるものの、二者三様でアレンジを加え、オリジナリティ溢れる作品へと仕上がりました。

今回の体験学習を通して学び得たことが、将来の進路や仕事に活かされれば「このうえない喜びです。

これからも、生徒さんが、ひたむきに真面目な態度で一日一日を大切に過ごし、充実した価値ある学校生活となりますことを心から願っております。



午後は展示室をまわり、学芸員について詳しく説明を受けていました。ここでも積極的に質問をなげかけようとする姿勢が感じられ、大変関心をいたしました。

また、見やすい絵の高さや綺麗に見える照明の当て方などがあることを知りましたという生徒さんの感想をいただきました。

これからも、生徒さんが、ひたむきに真面目な態度で一日一日を大切に過ごし、充実した価値ある学校生活となりますことを心から願っております。

●○●○●○●○●○●○●○  
**美術館**  
**ワークショップ**  
(芸術文化観光推進事業)  
●○●○●○●○●○●○●○  
**「アートひみつ  
基地」**

■ H25年度10月以降の、「アートひみつ基地」活動の様子をご紹介いたします。



▼10月12日(土)～14日(月・祝)  
「第4回 まちかど美術館」

七戸町の幼稚園、保育園の子ども達に「七戸町と自分の好きなもの」をテーマに写真で表現してもらい、町の商店街にて「写真展」を開催いたしました。

会場の様子を見に行きました、ちょうど親子連れに遭遇しました。写真に探したりしている様子を見ていましたと、128名分の園児たちの作品を印刷・防水加工し、展示場所に合わせて編成したりという、初めての町なか展示作業で大変だったことも忘れ、単純に「嬉しい」という気持ちでいっぱいになりました。



子ども達の作品は、どれも「大好き」「楽しい」が感じられる自信作ばかりでした。作品を商店街の協力各店にいたるまで、様々なところに展示させて頂けたことで、まちかどに溢れる子ども達の感性やパワーと、町の新たな一面を、町民のみならず周辺地域の方々にPRする良い機会にもなったのではないかでしょうか。

子ども達が成長して大人になった時、町を大切に思い、地域を盛り上げていって欲しいという願いを込めた本事業の開催も、今年で4年目を迎えることが出来ましたのは、ひとえに、町民の方々や関係者の皆様のご協力があるからこそでございます。この場を借りてお礼を申し上げますとともに今後もご支援を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

▼10月26日(土)～27日(日)  
「しちのへオータムフェスタ」

中央公園屋内スポーツセンターにおいて、文化・展示部門に出展いたしました。内容といたしましては、H25年度4月以降に開催した講座の様子を写真パネルと作品例で紹介するものとなりました。



▼平成26年1月の「アートひみつ基地」  
講座のおしらせ  
(日時など詳細未定)

《シルクスクリーン(絵馬)》

高さ3mもの巨大絵馬に、参加者全員で願いを込めた絵をプリントし、神社に奉納します。

《七宝焼》

色とりどりの釉薬でオリジナル小物を作ります。

掲載しているものの他にも、タイルで細工した「一スター」や、ドライフラワー入りキャンドル、七宝焼の見本を展示了しました。

町の美術館でどのような講座を開

催しているか、あるいは講座の雰囲気などを知つて頂ける良い機会になつたのではないかと考へております。こうしたイベントを通して皆様に情報をお伝えするだけでなく少しでも美術館や講座に興味を持つていただき、足を運んだり講座に参加したりして頂きたいと切に願つております。

美術館日誌

○ 9月 ○

1日(日)友の会旅行説明会6日(金)～8日(日)WS灯籠ナイト15日(日)七彩会油画教室開催19日(木)交流会(七百商店二会館)公山信

(木) 交流会(七戸商工会館) 船山館  
長出席 20日(金) 七戸街中大芸術祭

開会セレモニー（商店街中央ビル）  
船山館長出席25日（水）しちのへオ

一タムフエヌタ2013説明会（就業改善センター）船山館長出席26日

(木) 県交通政策部、取材のため来館27日(金) 県文化財パトロール(絵

馬收藏庫

6日(日)七彩会油画教室開催12日

(五) 14日(月・祝) まちかど美術館  
17日(木) 大鰐町成人大学来館 19日  
日(土) ぐれっとバスツアーアート20日  
(日) 七彩会油絵教室開催 25日(金)  
青森大学来館 26日(土) ~ 27日(日)  
オータムフェスタ

○11月○  
2日(土)七戸中職場体験打ち合わせ(生徒3名来館)3日(日)ぐれつとバスツアーアー6日(水)澤田様(4名様)来館9日(土)鷹山賞授賞式10日(日)七彩会油絵教室開催14日(木)七戸中職場体験(生徒3名来館)15日(金)三役会議19日(火)七戸小2

十和田市現代美術館で開催される「十和田奥入瀬芸術祭」のドキュメント展を街中エリアで開催します。芸術祭を検証し、将来につなげるための試みです。また、芸術祭の十和田市現代美術館展示は好評につき会期延長いたします。

【まちなか会場】

開場時間	休場日	月曜日	月曜日	月曜日	月曜日
平成25年10月11日(土)	26年1月13日(月祝)	12月14日(月祝)	1月16日(月祝)	12月17日(木)	1月18日(木)
※冬期休場日	の場合はその翌日	が祝日			

※冬期休場日 1月26日(木)～1月6日(月)

ただし会場によつては臨時休業日を設ける場合がありますので、

学年、4学年見学のため来館21日  
**(木)**城北保育園 職場訪問のため来館  
園児18名 22日(金) BUNKA  
新聞社祝賀会(富士屋グランドホー  
ル)船山館長出席23日(土)理事会26  
日(火)十和田工業高校(建築科3  
名)見学のため来館27日(水)城南小  
2学年、5学年見学のため来館29  
日(金)十和田電鉄観光(11名)来館。  
城南小3学年來館30日(土)評議会

【十和田市現代美術館会場

会場 中心商店街(bankto  
wada、松本茶舗、たかむら食  
料品店ほか)※十和田市現代美術館  
でマップを配布いたします。

会期	平成25年11月30日(土)～	平成26年1月13日(月祝)	開場時間	9時～17時(最終)
休場日	月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)	入場は16時30分まで	※冬季休場日	12月26日(木)～1月1日(水祝)
会場	十和田市現代美術館	延長展示	ト券	企画展+常設展セツ
観覧料	・企画展+常設展セツ ・企画展の個別料金は 一般六〇〇円 ・常設展の個別料金は 一般五〇〇円 ・高校生以下無料 ・団体(20名以上)100円引き	企画展示室	ト券	100円

寺山修司の言葉展

11 / 30 (土) ▼ H 26 年 3 / 30 (日)  
先人たちが残してくれた、心に響く言葉、本質を捉えた言葉などを、「名言」といいます。詩人、劇作家、写真家、映画監督、多くのジャンルで活躍したことでも知られ、「言葉の鍊金術師」と呼ばれた寺山修司は、「私が死んでも墓は建ててほしくない。私の墓は私の言葉であれば充分」と書き残すほど、多くの偉大なる言葉を生み出しました。そんな寺山修司の色褪せない魅力の一つである「言葉」に、没後30年の今日も沢山の人々が感化されています。時には心を揺さぶり、時には答えを導き、時には創造力を駆り立てる、一つの言葉。「寺山修司の言葉展」では、あらゆるジャンルで活躍するトップクリエイターたちが寺山修司の言葉にインスピライアされた作品を発表します。クリエイターの視座から、時代の価値観によって変換し、視覚的に表現された寺山修司の言葉をご覧ください。

◆ 5年生109名の子どもたちが、その野坂(0176-23-2285)問い合わせ場所

主催 日時 平成26年1月13日(月祝) 1月17時 無料

会場 十和田市立南小学校  
市民活動スペース  
十和田市現代美術館

会期	平成25年11月30日(土)
会場時間	平成26年3月30日(日)
休館日	9時～17時(入館は16時30分まで)
月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)	年末年始12月29日～1月3日 一般 五〇〇円(常設展 入館料含む)

「出雲大社と足立美術館の旅3日間」を堪能！

回で疑虫の外ワね！た讓とむのワ御日れ中雲着な継館し  
答す問？バはイ牛で後り大日浜一崎本なガに陸青ぎ一た青  
に！続のス満ンバの、対国輪へス神のいイふ。空行は回、  
一ガ出異ヘ。常に夕島面主に、真ツト参拝後、登場。切道出へ  
ワイ。常の木腹キヘワ話に建御赤に雷に稻・場。切道出へ  
イドこな途テ、ユ。イをよる神沈佐パ日。切道出へ  
ンのお高音中ル満一しナ重る國神沈佐パ日。切道出へ  
の自ろ音中、ヘ満足とまりね國神沈佐パ日。切道出へ  
香信ぎに、



稻佐の浜の夕陽

青森市 小野次郎  
満たされた  
出雲三日間  
行つて、観て、

平成25年度第2回「出雲大社と足立美術館の旅行、初秋の山陰地方を旅する3日間」に参加された方から研修旅行の記を寄せ頂いたので紹介いたします。

か?」と半信半疑。翌二日目も快晴。六十年に一度のリフオームを了えた大社参拝。遷座式が五月だったにも拘わらずひと人で賑わい中。十年前の島根インターハイ、名物しめ縄の大社に詣でたと思つた所が実は神楽殿で、今回は間違いない金色に輝く千木の本殿に参拝。おまけは、大社東南寄りの博物館で、大量出土したあの国宝の銅劍や銅鐸を存分に鑑賞できたこと。出雲そば会席の昼食後、この日の目玉・足立美術館へ。手入れ満点の庭に圧倒され、大観の「紅葉」や他の大家名品と立会い後、私と家内は桂離宮を模したという螢壁と油壁の茶室「寿立庵」で、何事も体験とば



卷之三

## 足立美術館ご利用案内

◎所在地

島根県安来市古川町320

○お間合わせ先

TEL 0854-28-7111

FAX 0854-28-6733

### ○閉館時間

開館時間  
4月～9月 9:00～17:30

10月～3月 9:00～17:00

○定休日 年中無休

新館は、展示替え期間中は休みご訪問の際は足立美術館のホームページで最新情報をご確認下さい。

(掲載写真は研修旅行に参加された会員様からご提供頂きました。)



鷹山宇一記念美術館友の会 「出雲大社と足立美術館の旅3日間」

# 「サンクトペテルブルク・パリ美術紀行8日間」

日 程 表

- 1日目** 平成26年5月9日(金)  
午後東北新幹線で出発→成田空港着→各自休憩・夕食  
21:55 AF277便で空路/パリへ [機内泊]

**2日目** 5月10日(土)  
パリ着03:50→休憩、朝食後乗り継ぎで  
10:20サンクトペテルブルクへ→15:35着後ホテルへ  
[サンクトペテルブルク泊]

**3日目** 5月11日(日)  
エルミタージュ美術館鑑賞(ゴールデン・ルーム入場)  
[サンクトペテルブルク泊]

**4日目** 5月12日(月)  
午前エカテリーナ宮殿観光、午後ピヨートル夏の宮殿の庭園と仕掛け洞窟観光 [サンクトペテルブルク泊]

**5日目** 5月13日(火)  
サンクトペテルブルグ市内観光  
16:30AF1053便でパリへ→17:55/パリ着後ホテルへ [パリ泊]

**6日目** 5月14日(水)  
ルーヴル美術館鑑賞。フリータイム、オプショナルツアーをお楽しみ頂けます。市内レストランで夕食後、空港へ  
23:25AF278便で帰国の途へ [機内泊]

**7日目** 5月15日(木)  
18:00成田空港着。成田エクスプレスで都内へ

**8日目** 5月16日(金)  
午前中フリータイム、午後東北新幹線で帰郷。めでたく解散 [都内泊]



エルミタージュ美術館外観  
(イメージ)

友の会設立20周年記念事業の第6回海外研修旅行「サンクトペテルブルク・パリ美術紀行8日間」は、世界三大美術館のうち、エルミタージュ美術館とルーヴル美術館という2大美術館を鑑賞するオリジナル企画ならではの美術紀行です。

まだ募集人員に余裕があり、募集締め切りを延期しましたので、皆様のご参加をお待ちしております。

なお、旅行説明会を下記の通り開催しますので、検討中の方のご出席をお待ちしております。

○ご旅行代金 349,000円

(燃油サーチャージは含みません)

○募集人員 35名(最少催行人員:20名)

○募集締切 平成26年2月7日(金)

○説明会 平成26年2月2日(日・13時~)

○問い合わせ先 鷗山宇一記念美術館友の会

○特 別 会 員	○贊 助 会 員	特 會 典 費	特 會 典 費	特 會 典 費
(個人・法人)	一 般 会 員 特 典	年 度 会 費 1 万 円	年 度 会 費 1 万 円	年 度 会 費 1 万 円
① 一 般 会 員 特 典 に 加 え て	① 会 員 証 提 示 に よ り 個 人 ・ 法 人 会 員 と も 本 人 及 び 同 伴 者 1 名 ま で 無 料 入 館	① 会 員 証 提 示 に よ り 個 人 ・ 法 人 会 員 と も 本 人 及 び 同 伴 者 1 名 ま で 無 料 入 館	② 新 規 加 入 の 方 に 画 集 1 冊 贈 呈	② 新 規 加 入 の 方 に 画 集 1 冊 贈 呈
③ ② 新 特 別 企 画 展 の 都 度 、 招 待 券 を 贈 呈	③ ② 新 特 別 企 画 展 の 都 度 、 招 待 券 を 贈 呈	④ 入 館 料 2 枚 引 き	④ 入 館 料 2 枚 引 き	④ 入 館 料 2 枚 引 き
美 術 館 ま で お 問 い 合 わ せ 下 さ い。	詳 し く は、	ア ム グ ゾ ブ 1 割 引	ア ム グ ゾ ブ 1 割 引	ア ム グ ゾ ブ 1 割 引

○ 友の会の事業内容

① 海内外美術館研修旅行（年2～3回）

② 海内外美術館研究旅行（募集中）

③ 美術館ボランティア協力

④ 基金への協力

⑤ 海外研修旅行

⑥ 宇山美術館第一回作品発行（美術講演会の開催等）

○ 微喜お平成25年も会員の皆様には、友の会運営に多大なご協力を賜り、誠に感謝いたしました。また、本号に年度別に特段の更新のご案内を企画し、各号に年次記念美術館の応援と会員の皆様による地域文化の発展に寄与する講演会などを企画いたします。

○ たいざいがん年添成も鷹山宇一記念美術館の運営に難う御座います。また、本号に年次記念美術館の応援と会員の皆様による地域文化の発展に寄与する講演会などを企画いたします。

友の会会員登録の更新と  
新規会員入会お誘いのお願い

「もういくつ  
ねるとお正月・  
・・・」いくつに  
なつてもお正月  
は樂しみです。本年も研修旅  
行記、美術館訪  
問記、紀行文を  
お寄せ頂き会報  
をお届けするこ  
とができました。  
有り難う御座い  
ました。平成26年皆様  
のご健康とご多  
幸をご心からお祈  
り申し上げます。  
(照井)

◎お知らせとお願ひ  
★平成26年は、友の会設立20周年として記念事業、第6回海外美術館紀行、会報特別号の発行等が本年6月の通常総会で決定されています。事業実施の際には会員各位の応援とご協力を宜しくお願い致します。